公益財団法人　全国商業高等学校協会　主催

文　部　科　学　省　後援

情報処理検定試験

新科目「情報基礎」「情報処理」

手　引

第 1 版

令和7年3月

公益財団法人　全国商業高等学校協会

情報処理研究部

もくじ

Ⅰ　課題検討委員会答申に基づいた情報処理検定試験体系の作成について ……1

Ⅱ　情報処理検定の改編について ……2

Ⅲ　情報処理検定試験規則（案） ……3

Ⅳ　情報処理検定試験施行細則（案） ……4

Ⅴ　情報処理検定試験要項（案） ……5

Ⅵ　情報処理検定試験　実施上の注意事項（案） ……6

Ⅶ　出題範囲

1　はじめに ……11

2　情報基礎 ……11

3　情報処理 ……14

Ⅷ　サンプル問題

1　情報基礎 ……17

2　情報処理（CBT 方式試験） ……31

3　情報処理（実技試験） ……39

Ⅸ　受験結果評価票（案）

1　情報基礎 ……43

2　情報処理（CBT 方式試験） ……44

Ⅰ　課題検討委員会答申に基づいた情報処理検定試験体系の作成について

令和 5 年 11 月 11 日

課題検討委員会答申に基づいた情報処理検定試験体系の作成について

1　検定体系

検定科目	試験形態	内容
情報基礎	筆記	「情報処理」で学習する内容のうち、「情報Ⅰ」と共通する内容
情報処理	筆記・実技	「情報処理」で学習する内容（「情報基礎」で扱う範囲の応用も含む）
ソフトウェア活用	筆記	「ソフトウェア活用」で学習する内容
プログラミング	筆記	「プログラミング」で学習する内容
ネットワーク	筆記	「ネットワーク活用」で学習する内容 ※「ネットワーク管理」の出題は、履修状況等を鑑みて追って検討する

2　検定体系の表記

情報処理検定は他の検定と区分し、級やレベル感は示さずに履修イメージとして示す

<table>
<tr><td>ソフトウェア活用</td><td>プログラミング</td><td>ネットワーク</td></tr>
<tr><td colspan="3">情報処理</td></tr>
<tr><td colspan="3">情報基礎</td></tr>
</table>

3　級取得の条件

・３科目以上で１級
・２科目で２級
・１科目で３級
※１級については、情報基礎を取得
※全て取得した場合、全科目表彰として顕彰する

4　説 明

・ビジネス情報分野で指定している５つの科目のうち、複数取得を以って高度の級と判定する
・個別の難易度は設定していない

5　移行スケジュール

令和　５年度（R6.3）　新検定の概要説明
令和　６年度（R7.3）　出題範囲・模擬問題の提示
令和　７年度（R7.8）　パブリックコメントの分析
令和　８年度（R8.9）　新検定「情報基礎」、「情報処理」への移行
　　※ 現行検定３級は廃止
令和　９年度（R9.9）　新検定「ソフトウェア活用」、「プログラミング」への移行
　　※ 現行検定２級は廃止
令和 10 年度（R10.9）新検定「ネットワーク」への移行
　　※ 現行検定１級は廃止

以 上

Ⅱ　情報処理検定の改編について

令和６年３月10日
情報処理研究部

情報処理検定の改編について

情報処理検定については、公益財団法人全国商業高等学校協会課題検討委員会から令和５年３月18日付けで答申がありました「社会全体のデジタル化・オンライン化、ＤＸの進展に対応した検定試験の在り方について」に基づき、以下のとおり改編します。

１　主な答申内容

・「情報処理」は「情報Ｉ」の代替科目であるため、入門級で内容の整合を図る出題をする。
・学習指導要領の範囲内で、情報社会の変化や進歩に応じた作問を検討する。
・学習指導要領の体系と検定試験の体系との整合を図り、各科目目標の達成度を測るようにする。

２　改編の概要

・試験範囲は原則として科目ごとに定め、令和８年度から順次移行する。
・合格証書は、１科目合格で３級、２科目合格で２級、３科目以上合格で１級とする。ただし、１級は「情報基礎」を含むものとする。

３　検定科目

検定試験科目	学習指導要領における科目	出題内容
情報基礎	情報処理	「情報処理」で学習する内容のうち、「情報I」と共通する内容
情報処理	情報処理	「情報処理」で学習する内容（「情報基礎」で扱う範囲の応用も含む）※実技試験も行う。
ソフトウェア活用	ソフトウェア活用	「ソフトウェア活用」で学習する内容
プログラミング	プログラミング	「プログラミング」で学習する内容
ネットワーク	ネットワーク活用 ネットワーク管理	「ネットワーク活用」、「ネットワーク管理」で共通して学習する内容及び各科目で学習する内容の選択問題※

※　「ネットワーク管理」に関する選択問題は、科目の履修状況を鑑みて追って検討する。

４　移行計画（新：新検定、現：現行検定）

令和６年度　（R7.3月）全国情報処理研究協議会にて出題基準並びに「情報基礎」及び「情報処理」に関するサンプル問題を公表
※　同様に、他科目のサンプル問題についても年次進行で公表予定
令和７年度　（R7.7月まで）公表内容に関するご意見等の収集
〃　（R8.3月）全国情報処理研究協議会にてご意見等に対する対応・考え方を提示
令和８年度　新情報基礎、情報処理／現２級、１級
令和９年度　新情報基礎、情報処理、ソフトウェア活用、プログラミング／現１級
令和10年度　新情報基礎、情報処理、ソフトウェア活用、プログラミング、ネットワーク

５　令和10年度以降の三種目以上１級合格者表彰の扱い

一種目のカウントとする。なお、全科目に合格した場合は「全科目合格者表彰」を行う。
※　令和９年度については、現行検定は従前どおりビジネス情報１級とプログラミング１級を各一種目と扱う。また、新検定は一種目として扱い、現行検定の取得は加算しない。

Ⅲ　情報処理検定試験規則（案）

令和８年度　情報処理検定試験規則

第 1 条 公益財団法人全国商業高等学校協会は、情報処理の能力を検定する。
第 2 条 検定は筆記方式試験または CBT 方式試験及び実技試験（2 級ビジネス情報、科目「情報処理」）によって行う。
第 3 条 検定の級、科目は次のように定める。

第１級　　ビジネス情報、プログラミング
第２級　　ビジネス情報（実技試験を含む）、プログラミング
科　目　　情報処理（実技試験を含む）
　　情報基礎

科目「情報処理」、「情報基礎」の、いずれか 1 科目に合格したときは情報処理検定試験第 3 級、2 科目に合格したときは情報処理検定試験第 2 級に合格したものとする。

第 4 条 検定試験の実施時期は細則で定める。
第 5 条 検定の出題範囲については別に定める。
第 6 条 検定に合格するためには各級とも各試験において、70 点以上の成績を得なければならない。
第 7 条 検定に合格した者には合格証書を授与する。
第 8 条 前条による合格証書は、次の様式とする。

様　式

第　号
合　格　証　書
第　　級
（　　）　氏名
年　月　日生
本協会主催文部科学省後援第　回
情報処理検定試験において頭書の
級に合格したことを証します
年　月　日
公益財団法人全国商業高等学校協会
理事長　氏　　名　㊞

第 9 条 検定試験受験志願者は、所定の申込手続きを行い、受験料を本協会に納めなければならない。
第 10 条 試験委員は高等学校その他の関係職員がこれに当たる。

Ⅳ　情報処理検定試験施行細則（案）

令和８年度　情報処理検定試験施行細則

第１条 受験票は本協会で交付する。受験票は試験当日持参しなければならない。

第２条 試験規則第４条による試験日は、次のとおりとする。

1　筆記方式試験、実技試験の試験日は、毎年９月は第４日曜日、1 月は第５日曜日とする。ただし、1 月の第５日曜日がない場合は第３日曜日とする。

2　CBT 方式試験の試験日は、全国商業高等学校協会が別途定めた試験期間のうち試験場校が指定した日とする。

第３条 各級とも各試験について 100 点を満点とし、制限時間は次のとおりとする。

	ビジネス情報		プログラミング
	筆記方式試験	実技試験	筆記方式試験
第１級	６０分	－	６０分
第２級	３０分	２０分	５０分

令和８年度からの実施	CBT 方式試験	実技試験
情報処理	３０分	２０分
情報基礎	５０分	－

第４条 プログラミングにおける言語は、マクロ言語とする。

第５条 CBT 方式試験では、試験の内容について記録したり、他に伝えたりすることを禁止する。

第６条 受験料は次のように定める。（消費税を含む）

第１級　2,100 円

第２級　1,800 円

情報処理、情報基礎　１科目につき 1,800 円

第７条 試験会場では試験委員の指示に従わなければならない。

第８条 合格発表は試験施行後１か月以内に行う。その日時は試験当日までに発表する。

Ⅴ　情報処理検定試験要項（案）

令和８年度　情報処理検定試験要項

主催　公益財団法人全国商業高等学校協会
後援 文部科学省

1　試　験　期　日　筆記方式試験（１級、２級（ビジネス情報、プログラミング））
実技試験（２級ビジネス情報、情報処理）
第○回　　令和○年９月○日（○）〔全国一斉〕
第○回　　令和○年１月○日（○）〔全国一斉〕

（CBT 方式試験は試験場校が定めた試験実施期間内で実施）

CBT 方式試験（情報処理）
令和　　年　　月　　日（　　）から令和　　年　　月　　日（　　）
CBT 方式試験（情報基礎）
令和　　年　　月　　日（　　）から令和　　年　　月　　日（　　）

2　受　験　資　格　特に制限はありません。

3　受　　験　　料
（消費税を含む）

級・科目	第１級	第２級	情報処理	情報基礎
受験料	2,100 円	1,800 円	1,800 円	1,800 円

（注）受験料は理由の如何を問わず返金いたしません。

4　試　験　場　校
（試験場校名を記入）　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

5　試験実施時間　第１級ビジネス情報　午前９ 時 00 分から午前 10 時 00 分まで
第１級プログラミング　午前 10 時 20 分から午前 11 時 20 分まで
第２級ビジネス情報
第２級プログラミング
情報処理
情報基礎
時間割は各試験場校ローテーションを組んで発表します。

（注）　第 1 級ビジネス情報・プログラミング及び第 2 級プログラミングについては、開始後 30 分間は入室を認めます。第 2 級ビジネス情報及び CBT 方式により実施する試験、実技試験については、遅刻入室を認めません。
試験開始後の途中退室は認めません。ただし、CBT 方式試験については、途中退出は試験場校の指示によるものとします。

6　申　込　期　間　ビジネス情報、プログラミング、情報処理
第○回　令和○年６月○日（○）から令和○年７ 月○日（○）まで
第○回　令和○年 10 月○日（○）から令和○年 11 月○日（○）まで
情報基礎
令和　　年　　月　　日（　　）から令和　　年　　月　　日（　　）まで

7　申込場所と申込方法
(1) 高校生　原則として在籍校で申し込みます。
(2) 一　般　受験可能な試験場校に申し込みます。
在籍校が試験場校ではない等の事情によって、高校生も (2) に従うことができます。
（注）　１人で複数の級または同一級二つを受験できます。
その場合はそれぞれの検定の受験料を納めてください。

8　合格発表と合格証書授与
試験当日試験場校において日時・場所を発表します。

Ⅵ　情報処理検定試験　実施上の注意事項（案）

１　監督者の配置

１教室につき１名以上の監督者を配置し、不正行為の防止に努める。

なお、CBT 方式試験は、ＣＢＴ実施、機械トラブル対応、不正行為防止ができる人数を配置する。

２　級・試験時間・制限時間・配付物

<table>
<tr><th>級・科目</th><th>試験時間</th><th colspan="2">制限時間</th><th>配付物</th></tr>
<tr><td>第１級ビジネス情報</td><td>午前 9 時 00 分から午前 10 時 00 分まで</td><td colspan="2">筆記 60 分</td><td>筆記問題、解答用紙　各 1 部</td></tr>
<tr><td>第１級プログラミング</td><td>午前 10 時 20 分から午前 11 時 20 分まで</td><td colspan="2">筆記 60 分</td><td>筆記問題、解答用紙　各 1 部</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第２級ビジネス情報</td><td rowspan="2">各試験場校の実情に合わせて実施</td><td rowspan="2">50 分</td><td>筆記 30 分</td><td>筆記問題、解答用紙　各 1 部</td></tr>
<tr><td>実技 20 分</td><td>実技問題、解答用紙　各 1 部</td></tr>
<tr><td>第２級プログラミング</td><td>各試験場校の実情に合わせて実施</td><td colspan="2">筆記 50 分</td><td>筆記問題、解答用紙　各 1 部</td></tr>
<tr><td rowspan="2">※情報処理</td><td rowspan="2">各試験場校の実情に合わせて実施</td><td rowspan="2">50 分</td><td>CBT 30 分</td><td>計算用紙、ログインＩＤ・パスワード通知書　各 1 部</td></tr>
<tr><td>実技 20 分</td><td>実技問題、解答用紙　各 1 部</td></tr>
<tr><td>※情報基礎</td><td>各試験場校の実情に合わせて実施</td><td colspan="2">CBT50 分</td><td>計算用紙、ログインＩＤ・パスワード通知書　各 1 部</td></tr>
</table>

※２科目合格で２級、１科目合格で３級

３　監督者への注意

筆記方式試験・実技試験

(1) 受験者が欠席した場合、試験問題封筒に欠席した受験者の番号を記入してください。

(2) 試験開始時間、制限時間を確認し、実施してください。なお、制限時間はすべて正味の時間です。入退室・注意・用紙配付・アプリケーションソフトの起動（実技）・受験番号の入力（実技）・印刷（実技）などの時間は含んでいません。

(3) 試験問題を配付する際は、表紙を上にして、一人１部ずつ配付してください。

(4) 試験問題に受験番号を記入させ、試験終了後回収してください。後日受験者に渡しても構いません。

なお、他の受験者にも、問題の内容を漏らさないよう注意を与えてください。

(5) 試験開始後の途中退室は認めません。遅刻者については第 1 級ビジネス情報・プログラミングおよび第 2 級プログラミングは、試験開始後 30 分間は入室を認めてください。

なお、受験者から体調不良によるトイレ利用の申し出があった場合は、監督者の判断により、次のことを配慮し、一時退室を認めることができます。

①一時退室時間は、必要最小限の時間とする。

②一時退室した分の試験時間の延長は認めない。
③問題・解答の漏えいには十分留意する。
④不正行為の防止に努める。
⑤検定試験終了後に試験場校委員長へ報告する。

CBT 方式試験

(1) 試験開始時間、制限時間を確認し、実施してください。なお、制限時間はすべて正味の時間です。入退室・注意・用紙配付・アプリケーションソフトの起動（実技）・受験番号の入力（実技）・印刷（実技）などの時間は含んでいません。
(2) 受験に使用する PC は、監督者がブラウザを起動して CBT サイトにアクセスし、ログイン画面を表示してください。
(3) 受験者の入室後に、「ログインＩＤ・パスワード通知書（当日配付）」を配付して、個別のＩＤ・パスワードを伝えてください。
(4) 試験問題をダウンロードするときと、解答をアップロードするときに通信環境によっては通信の混雑・遅延が想定されます。通信混雑により接続の不具合が発生するときは、「実施する」や「終了」のボタンをクリックするタイミングをずらしてください。
(5) 試験時間は、受験者が試験画面で「開始」のボタンをクリックした時点で自動的に計測され、制限時間になると解答の入力ができなくなります。
(6) 「情報処理」の CBT 方式試験 30 分、実技試験 20 分は別々に計時してください。
(7) 試験開始後の遅刻は認めません。
試験開始後の途中退出は、試験場校の指示によるものとします。退出させるときは、必ず試験画面の「終了」ボタンをクリックして解答をアップロードしたことを確認し、周りに迷惑をかけないよう、静かに退出させてください。
なお、受験者から体調不良によるトイレ利用の申し出があった場合は、監督者の判断により、次のことを配慮し、一時退室を認めることができます。
①一時退室時間は、必要最小限の時間とする。
②一時退室した分の試験時間の延長は認めない。
③問題・解答の漏えいには十分留意する。
④不正行為の防止に努める。
⑤検定試験終了後に試験場校委員長へ報告する。
(8) 試験の内容について記録したり、他に伝えたりすることを禁止する。

4　受験者への注意（必ず読み上げてください）

ビジネス情報・プログラミング共通

(1) 試験問題が配られても、指示があるまでは、試験問題に触れないでください。
(2) 解答用紙に「試験場校名・受験番号」を記入してください。
(3) 試験は「始め」の合図で開始し、「止め」の合図があったら解答の記入を中止し、直ちに解答用紙を裏返してください。

(4) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
(5) 問題および問題の内容についての質問には一切答えません。もし、印刷に不明な点があれば手をあげて試験委員にたずねてください。
(6) 試験終了まで退室できません。
(7) 受験中に不正行為があった場合は、不合格となります。
(8) 電卓、そろばん等の計算用具は使用できません。

第 1 級ビジネス情報

(1) 第 1 級ビジネス情報の制限時間は 60 分です。

第 1 級プログラミング

(1) 第 1 級プログラミングの制限時間は 60 分です。

第 2 級ビジネス情報

(1) 第 2 級ビジネス情報の制限時間は、筆記 30 分、実技 20 分です。
(2) 実技試験では、あらかじめ用意されたデータを用いてください。
(3) 実技試験では、ワークシートのＡ 1 のセルにあらかじめ試験場校名および受験番号を入力してください。
(4) 筆記試験では、パソコンを使用して解答することはできません。

第 2 級プログラミング

(1) 第 2 級プログラミングの制限時間は 50 分です。

CBT 方式試験共通

○事前注意
(1) 指示があるまでは、PC に触れないでください。
(2) 受験中に不正行為があった場合は、不合格となります。
(3) 電卓（関数付は不可)、そろばん等の計算用具は使用できます。
(4) 配付したメモ用紙は監督が回収しますので持ち帰らないでください。
(5) メモ用紙に各自、受験番号、氏名を記入してください。
(6) 試験問題を含め、受験によって知り得た情報全般を複製、保存したり、他へ開示、漏えいしたりする行為は一切禁止します。
(7) 試験後に故意によるメモの持ち帰りや、問題の漏えいなどの禁止行為が発覚した場合は、当該受験者を不合格とします。また、今後、全商検定の受験を不可とするなどのペナルティーが課されることがあります。

〇受験手順

(1) 解答はすべて PC から入力してください。

(2) 画面に表示された説明事項を読んで確認してください。

(3) 受験開始画面で、「開始」ボタンを押すと試験が始まります。

(4) 制限時間が経過すると「時間切れになりました『終了ボタンを押してください』とメッセージが表示され解答できなくなりますので、必ず「終了」ボタンをクリックしてください。

(5) 問題および問題の内容についての質問には一切答えません。もし、PC がフリーズ等した場合は手をあげて試験委員にたずねてください。

(6) （途中退出は試験場校の指示によるものとします。）

①試験終了まで退室できません。

②試験終了した者は、「終了ボタン」をクリックし、周りに迷惑をかけないよう、静かに退出してください。

■途中退出を認めるとき■

①制限時間前に試験を終了するときは、画面右下の「終了」ボタンを押してください。

②「解答をアップロードします。よろしいですか？」と表示されますので、「はい」をクリックすると試験が終了し、「いいえ」をクリックすると受験画面に戻ります。

(7) ログイン画面で、受験者がログイン ID とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

(8) 試験名、問題数、制限時間を確認してください。また、「注意事項（必ずお読みください)」のリンクをクリックして、表示された注意事項を読んで確認してください。

情報基礎

(1) 情報基礎の制限時間は 50 分です。

情報処理

(1) 情報処理の制限時間は、CBT 方式 30 分、実技 20 分です。

(2) 実技試験では、あらかじめ用意されたデータを用いてください。

(3) 実技試験では、ワークシートのＡ１のセルにあらかじめ試験場校名および受験番号を入力してください。

５　採点者への注意

(1) 筆記方式試験、実技試験の同一答案の同一問題については、2 人以上の採点者によって採点するようにしてください。

(2) 審査基準が不足した場合はコピーをしてください。

(3) 審査基準については、試験後でも一切生徒ならびに外部へ公表しないようにしてください。

(4) 採点をする上で、不明な点等がある場合には、Web システムの「お知らせ」を確認し、回答等の掲載がないかを確認してください。

(5) 検定日当日に（4）を行った上で、重大な疑義があるときは採点を保留して全商協会へ電話で連絡

してください。

(6) 検定日翌日以降の問い合わせは、P.26「43　各種検定試験に対する問い合わせ先」のメールアドレス宛に連絡してください。全商協会は内容を確認し、メールまたは電話にて回答します。

(7) 試験後、成績は一切公表しないでください。ただし、受験者本人に対する成績の開示は合格発表日以降であれば差し支えありません。この場合であっても、答案用紙は開示せず点数のみにしてください。

Ⅶ　出題範囲

１　はじめに

令和８年度より改編される情報処理検定試験では、教科商業科の科目「情報処理」の学習の成果を、学習指導要領の必履修科目である共通教科情報科の科目「情報Ⅰ」と共通する内容で構成される試験科目「情報基礎」と、専門教科商業科を学ぶ生徒が「情報Ⅰ」の範囲を超えて学ぶ内容で構成される試験科目「情報処理」に分けて測ることにより、全ての生徒が学ぶべき必履修科目「情報Ⅰ」の学習目標の達成と、これをビジネスで活用するための知識及び技術、思考力、判断力、表現力等の着実な習得を図ることとした。

本「出題範囲」は、科目「情報処理」の学習内容を試験科目「情報基礎」と「情報処理」に分割するにあたって、学習指導要領に基づいて各試験科目の出題範囲とする学習項目とその内容を示すとともに、知識として習得すべき内容の例を示している。なお、ここに示した内容の例は学習内容の基本的な理解を測るレベルのものである。したがって、検定試験では、各項目の学習目標の達成度を測るために、単にここで示した内容そのものの知識だけでなく、関連する知識も含めて、理解の深さや思考力なども問う。

なお、「情報基礎」と「情報処理」の学習内容は、相互に関連するものであり、「情報処理」の学習内容には「情報基礎」で学んだ知識を前提とする内容も含まれる。

２　情報基礎

(1) 企業活動と情報処理

■　出題方針　■

企業における情報処理に関する知識、技術などを基盤として、情報処理の意義と課題について自らの考えをもつとともに、企業における適切な情報処理についての意識と意欲を高め、組織の一員としての役割を果たすことができるかを問う。ただし、「情報処理」の出題範囲となっている内容を除く。

ア　情報処理の重要性

出題内容例

データ、情報、情報処理、情報通信技術（ICT)、高度情報通信社会、情報システム、サーバ、データベース、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、機械学習、人工知能（AI)、データマイニング、バーコード、非接触型 IC、GPS、インターネットバンキング、オンラインショッピング、電子発注システム（EOS)、電子商取引（EC)、仮想現実（VR)、拡張現実（AR)、複合現実（MR)、IoT、SNS

イ　コミュニケーションと情報デザイン

出題内容例

表現・伝達・記録などに使われるメディアの特性、ユーザインタフェース、ユニバーサルデザイン、ユーザビリティ、アクセシビリティ、ピクトグラム、文字による表現の留意点（可読性、視認性、判読性、フォント、ポイント)、色の属性（色相、明度、彩度)、色彩、色相環、補色、ドット、画素、dpi、ppi、光の三原色、色の三原色

ウ　情報モラル

出題内容例

情報モラル、情報化社会の光と影、フィッシング詐欺、ワンクリック詐欺、有害サイト、ユーザID、パスワード、なりすまし、不正アクセス禁止法、プライバシー、肖像権、個人情報保護法、個人識別符号、オプトイン、オプトアウト、知的財産権、著作権、著作権法、クリエイティブ・コモンズ

(2) コンピュータシステムと情報通信ネットワーク

■　出題方針　■

コンピュータシステムと情報通信ネットワークに関する知識、技術などを基盤として、情報技術の進歩、コンピュータシステムと情報通信ネットワークの活用に関する具体的な事例など科学的な根拠に基づいて、適切な情報の収集と管理について、組織の一員としての役割を果たすことができるかを問う。ただし、「情報処理」の出題範囲となっている内容を除く。

ア　コンピュータシステムの概要

出題内容例

ハードウェア、五大装置（入力装置、制御装置、記憶装置、演算装置、出力装置）、中央処理装置（CPU）、主記憶装置、補助記憶装置（ハードディスク装置（HDD）、SSD、光学ドライブ、USBメモリ、SDメモリカードなど）、入出力装置（キーボード、プリンタ、プロジェクタなど）、解像度、デジタルカメラ、スマートデバイス、インタフェース、RFID、Bluetooth、HDMI、USB、集積回路（IC）、RAM、ROM、ビデオボード、VRAM、フラッシュメモリ、デジタル、アナログ、ビット、バイト、2進数、基数変換（2進数↔10進数）、処理速度の単位（ms、μs、ns、ps、fs）、記憶容量の単位（KB、MB、GB、TB、PB）、標本化、量子化、符号化、ソフトウェア、アイコン、オペレーティングシステム（OS）、アプリケーションソフトウェア、アンインストール、インストール、オープンソースソフトウェア（OSS）、フリーウェア、シェアウェア、サイトライセンス、デバイスドライバ、バグ、パッチ、ファイル、ファイル名、テキストファイル、バイナリファイル、フォーマット、フォルダ、拡張子

イ　情報通信ネットワークの仕組みと構成

出題内容例

情報通信ネットワーク、データ通信、アナログ回線、デジタル回線、LAN、無線LAN、有線LAN、WAN、光ファイバ、Wi-Fi、アクセスポイント、インターネット、WWW、プロバイダ、サーバ名、ドメイン名、IPアドレス、DNS、Webページ、ブラウザ、URL、Webサーバ、ハイパーリンク、HTML、電子メール、HTMLメール、Webメール、メールサーバ、メールボックス、プロトコル

ウ　情報通信ネットワークの活用

出題内容例

アップロード、ダウンロード、検索エンジン、コンテンツフィルタリング、ブラックリスト方式、ホワイトリスト方式、メーリングリスト、TO、CC、BCC、添付ファイル、圧縮、解凍

エ　情報セキュリティの確保と法規

出題内容例

サイバー攻撃、マルウェア、コンピュータウイルス、セキュリティホール、インシデント、迷惑メール、スパムメール、スパイウェア、トロイの木馬、ワーム、ランサムウェア、アドウェア、情報セキュリティ、情報セキュリティの CIA（機密性、完全性、可用性）、バックアップ、ウイルス対策ソフトウェア、パターンファイル、アップデート、セキュリティパッチ、認証、ログイン、ログアウト、ワンタイムパスワード、アクセス権、暗号化、復号、暗号文

(3) 情報の集計と分析

■　出題方針　■

統計、表・グラフの作成など情報の集計と分析に関する知識、技術などを基盤として、ビジネスに関する情報の集計と分析に対する要求などに基づいた適切な情報の提供と効果的な活用について、組織の一員としての役割を果たすことができるかを問う。ただし、表計算ソフトウェアに関する内容を除く。

ア　ビジネスと統計

出題内容例

統計分析、データの種類（量的データ（定量的データ）、質的データ（定性的データ））、尺度水準、全数調査、標本調査、母集団、標本、標本誤差、外れ値、欠損値、代表値、偏差、分散、標準偏差、度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図、散布図、相関、ABC 分析（パレート図）、時系列分析

イ　表・グラフの作成と情報の分析

出題内容例

グラフ（棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ、複合グラフ、レーダーチャート、Z グラフ）の特徴とこれらを活用した情報の分析

ウ　問題の発見と解決の方法

出題内容例

ロジカルシンキング、ロジックツリー、MECE、デシジョンテーブル、ガントチャート、SWOT 分析、特性要因図、PDCA、ブレーンストーミング、KJ 法、PPM 分析、シミュレーション、モデル化、モデル（動的モデル、静的モデル、確定的モデル、確率的モデル）、モンテカルロ法、アルゴリズム、プログラム、プログラム言語、プログラミング、基本制御構造（順次構造、選択構造、繰り返し構造）、トレース、流れ図（最大値の検出、最小値の検出、総合計の算出、総平均の算出、データの件数のカウント）

(4) ビジネス文書の作成【出題なし】

(5) プレゼンテーション【出題なし】

３　情報処理

(1) 企業活動と情報処理

■　出題方針　■

企業における情報処理に関する知識、技術などを基盤として、情報処理の意義と課題について自らの考えをもつとともに、企業における適切な情報処理についての意識と意欲を高め、組織の一員としての役割を果たすことができるかを問う。ただし、情報モラルに限って出題することとする。

ア　情報処理の重要性【出題なし】

イ　コミュニケーションと情報デザイン【出題なし】

ウ　情報モラル

出題内容例

公表権、氏名表示権、同一性保持権、上演権、譲渡権、貸与権、複製権、著作隣接権、著作隣接権者、産業財産権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権

(2) コンピュータシステムと情報通信ネットワーク

■　出題方針　■

コンピュータシステムと情報通信ネットワークに関する知識、技術などを基盤として、情報技術の進歩、コンピュータシステムと情報通信ネットワークの活用に関する具体的な事例など科学的な根拠に基づいて、適切な情報の収集と管理について、組織の一員としての役割を果たすことができるかを問う。

ア　コンピュータシステムの概要

出題内容例

コード、ANSI、ASCII コード、ISO、JIS、JIS コード、シフト JIS コード、Unicode、16 進数、基数変換（10 進数↔16 進数、2 進数↔16 進数）、補数、コア、プロセッサ、シングルコアプロセッサ、MPU、マルチコアプロセッサ、キャッシュメモリ、シリンダ、トラック、セクタ、ドライブ、ディスクキャッシュ、スループット、レスポンスタイム、ターンアラウンドタイム、ディレクトリ、サブディレクトリ、ルートディレクトリ、ワイルドカード（*、?）、ファイル形式（AVI、BMP、JPEG、GIF、PNG、MPEG、MP3、MIDI、WAV、CSV、PDF）、CD（-R、ROM、RW）、DVD（-R、ROM、RW）、BD（-R、ROM、RW）

イ　情報通信ネットワークの仕組みと構成

出題内容例

パケット、パケット交換、TCP/IP、ネットワークアドレス、ホストアドレス、サブネットマスク、グローバル IP アドレス、プライベート IP アドレス、DHCP、MAC アドレス、ESSID、SSID、通信速度、伝送効率、転送時間、bps、テザリング、Cookie、XML、HTTP、I MAP4、IMAP サーバ、POP3、POP サーバ、SMTP、SMTP サーバ、ファイルサーバ、プリントサーバ、FTP、ネットワークインタフェースカード（NIC）、ハブ、スイッチングハブ、ルータ、ブロードバンド、ブロードバンドルータ、ONU、プロキシサーバ、オンラインストレージ、NAS

ウ　情報通信ネットワークの活用

出題内容例

ファイル共有ソフトウェア、ファイル交換ソフトウェア、グループウェア、圧縮率、可逆圧縮、非可逆圧縮、ZIP 形式、オンデマンド、ストリーミング、オンライン、オンライン処理、オンラインシステム、リアルタイム処理、バッチ処理、クライアントサーバシステム、オンライントランザクション処理、集中処理、分散処理、並列処理、シンプレックスシステム、デュプレックスシステム、デュアルシステム

エ　情報セキュリティの確保と法規

出題内容例

物理的脅威、人的脅威、技術的脅威、内部不正、ボット、マクロウイルス、DDoS 攻撃、DoS 攻撃、キーロガー、ガンブラー、クラッキング、ソーシャルエンジエアリング、盗み見、生体認証（バイオメトリクス)、顔認証、虹彩認証、静脈パターン認証、網膜認証、声紋認証、多要素認証、多段階認証、他人受入率、本人拒否率、ファイアウォール、DMZ、VPN、アクセスログ、共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式、セッション鍵方式、デジタル署名、電子署名、認証局（CA)、電子証明書、電子認証、電子すかし、ディスク暗号化、HTTPS、SSL/TLS、サイバー空間

(3) 情報の集計と分析

■　出題方針　■

統計、表・グラフの作成など情報の集計と分析に関する知識、技術などを基盤として、ビジネスに関する情報の集計と分析に対する要求などに基づいた適切な情報の提供と効果的な活用について、組織の一員としての役割を果たすことができるかを問う。ただし、表計算ソフトウェアに関する内容に限って出題する。

ア　ビジネスと統計【出題なし】

イ　表・グラフの作成と情報の分析

出題内容例

ブック、ワークシート、メニューバー、セル、行、行高、列幅、セル の表示形式（, 、¥、%、小数の表示桁数設定)、セル内の配置（文字位置、文字方向、セル結合)、複写、移動、罫線（細線、太線)、比較演算子（=、 >、 <、 >=、 <=、 <>)、算術演算子（+、 -、 *、 /、 ^)、文字列演算子（&)、セル番地、相対参照、絶対参照、複合参照、再計算（自動再計算機能)、並べ替え（キー項目、昇順、降順)、関数、引数、入れ子（ネスト)、シリアル値、適切な表の構成、表計算ソフトウェアを利用した適切なグラフの作成、タイトル、軸ラベル、軸の反転、凡例、行/列の切り替え

［関数］

SUM、AVERAGE、MAX、MIN、RANK、IF、COUNT、COUNTA、ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN、LEN、LEFT、RIGHT、MID、VALUE、NOW、TODAY、HLOOKUP、VLOOKUP、INT、MOD、AND、OR、NOT

［グラフ］

棒グラフ（集合、積み上げ、100%積み上げ)、折れ線グラフ、円グラフ（切り離し円)、レーダーチャート

ウ　問題の発見と解決の方法【出題なし】

(4) ビジネス文書の作成【出題なし】

(5) プレゼンテーション

■　出題方針　■

プレゼンテーションの技法などプレゼンテーションに関する知識、技術などを基盤として、プレゼンテーションに対する要求などに基づいた適切な情報の伝達について、組織の一員としての役割を果たすことができるかを問う。ただし、プレゼンテーションソフトウェアに関する内容を除く。

ア　プレゼンテーションの技法　及び　イ　ビジネスにおけるプレゼンテーション

出題内容例

話し方の基本（正しい日本語、分かりやすい言葉、内容の明確化、聞き取りやすい話し方、話す速度等)、ノンバーバルコミュニケーション、話しの構成（序論、本論、結論)、内容の構成（トップダウン方式、ボトムアップ方式)、目的（報告、解説、提案など）によるプレゼンテーションの方法の違い、形態（商談、講演、コンペティション）によるプレゼンテーションの方法の違い

Ⅷ　サンプル問題

１　情報基礎

(1) 企業活動と情報処理

ア　情報処理の重要性

(1)ア①	
コンピュータなどの機器を使った情報処理や情報通信技術の総称を表す略語はどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	GPS
選択肢２	ICT
選択肢３	AI
選択肢４	SSD
正　答	2

(1)ア②	
SNS の持つ課題や問題点について述べたものの全てを挙げたものはどれか答えなさい。 ア　個人情報が漏えいし，悪用される恐れがある。 イ　著作権法に違反する画像やイラストなどが存在する。 ウ　フェイクニュース等，信憑性に欠ける情報が存在する。 エ　他人を誹謗中傷する発言，プライバシーを侵害する発言等が存在する。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	ア
選択肢２	イ，ウ
選択肢３	ア，ウ，エ
選択肢４	ア，イ，ウ，エ
正　答	4

(1)ア③	
機械学習に関する記述として，適切なものはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	機械が複雑な作業を自動的に行えるよう，人間が行う動作や手順を記憶させること。
選択肢２	個人が PC やインターネットなどを利用して，電子的に作成された教材を用いて学習すること。
選択肢３	コンピュータに学習のためのデータを与えて，データ間の関係性を見つけたり，データから答えを導き出したりする方法を自動的に学習させること。
選択肢４	専門家が業務で行う高度な判断の過程を分析し，コンピュータが専門家と同じよう

	に判断して業務を行えるようプログラミングをすること。
正　答	3

イ　コミュニケーションと情報デザイン

(1)イ①	
図のように，伝えたいメッセージの本質を見きわめ，情報を抽象化して表現したものの総称は何か答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	非常口
選択肢 2	マスメディア
選択肢 3	ＳＮＳ
選択肢 4	ピクトグラム
正　答	4

(1)イ②	
光の三原色の説明として正しいものはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	光の三原色は赤，緑，青であり，最大の強さで足し合わせると白になる。
選択肢 2	光の三原色は赤，緑，青であり，最大の強さで足し合わせると黒になる。
選択肢 3	光の三原色はシアン，マゼンタ，イエローであり，最大の強さで足し合わせると白になる。
選択肢 4	光の三原色はシアン，マゼンタ，イエローであり，最大の強さで足し合わせると黒になる。
正　答	1

ウ　情報モラル

(1)ウ①	
他人のＩＤやパスワードを使って，アクセス制限機能を持ったコンピュータに許可なく接続した。この行為は次のどの法律に触れる行為となるか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	個人情報保護法
選択肢 2	著作権法
選択肢 3	不正アクセス禁止法
選択肢 4	特許法
正　答	3

(1)ウ②	
個人情報保護法において，個人情報を保有する企業の義務として定められていることとして，誤っているものはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	あらかじめ本人の同意を得た目的外で利用してはいけない。
選択肢 2	個人情報を取得するときは，その目的を示して，本人の同意を得なければならない。
選択肢 3	情報の漏えいや滅失などを防止する安全管理の措置を講じなければならない。
選択肢 4	取引先などの関係者から請求があったときは，情報を提供しなければならない。
正　答	4

(1)ウ③
次の会話はある高校における先生と生徒のものである。文中の（ ア ），（ イ ）にあてはまる適切な語句の組み合わせはどれか答えなさい。 生徒：先生，この写真見てください。 先生：きれいな部屋の写真だね。一緒に写っているのは A さんかな？ 生徒：はい，昨日 A さんの家に遊びに行って私が撮ったもので，SNS に公開しました。 先生：A さんに承諾は得たのかな？ 生徒：いいえ。A さんもきっと喜んでいると思います。 先生：それはよくないな。A さんの写真を無断で SNS に公開することは，A さんの（ ア ）を侵害していることになるのだよ。 生徒：そうなんですね。 先生：A さんの部屋の様子も写っているから，A さんの（ イ ）侵害の可能性もあるね。 生徒：悪意はなかったのですが･･･。 先生：この画像が悪用されるといけないから，一旦削除した方がよいのではないかな。 生徒：わかりました。

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	（ ア ）プライバシー　（ イ ）著作権
選択肢 2	（ ア ）肖像権　（ イ ）プライバシー
選択肢 3	（ ア ）著作権　（ イ ）肖像権
選択肢 4	（ ア ）肖像権　（ イ ）著作権
正　答	2

(1)ウ④
次の行為のうち，著作権法上，著作権者の許可を得なければ行うことができない行為はどれか答えなさい。
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢 1	学校の文化祭で，うちわに人気アニメのキャラクターをプリントして無料で配布した。
選択肢 2	自分の論文の中に，他人の論文の一部を抜粋してそのまま掲載した。ただし，必要最低限の内容であり，出典等も明記した。
選択肢 3	自分で購入した音楽 CD を，自宅の部屋で利用するためにコピーした。
選択肢 4	インターネットからダウンロードした画像を，自分の部屋に飾るために印刷した。
正　答	1

(2) コンピュータシステムと情報通信ネットワーク

ア　コンピュータシステムの概要

(2)ア①

データの読み出しと書き込みが自由にでき，電源を切ると記憶内容が失われるメモリはどれか答えなさい。

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢 1	CD
選択肢 2	RAM
選択肢 3	ROM
選択肢 4	RFID
正　答	2

(2)ア②

次の表は，購入を検討しているサーバ機の性能表である。使用期間を 10 年間とし，消費電力のみに着目した場合，最もコストパフォーマンス（総費用）がよい製品はどれか答えなさい。ここで，サーバ機はサービスを継続するため，電源を入れ続ける設計になっている。また，年間電気量は，現在の単価で計算された予測値である。

性能表

	A 製品	B 製品	C 製品	D 製品
価格	¥285,000	¥503,000	¥254,000	¥466,000
ＣＰＵ	A 社	i 社	i 社	A 社
メモリ	8GB	16GB	8GB	16GB
補助記憶	SSD512GB	HDD2TB	SSD512GB	HDD4TB
ＯＳ	W系	L系	U系	U系
省エネ性能	★★★☆☆	★★★★☆	★★☆☆☆	★★★☆☆
年間電気量	¥44,000	¥22,000	¥48,000	¥38,000

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢 1	A 製品
選択肢 2	B 製品

選択肢３	Ｃ製品
選択肢４	Ｄ製品
正　答	２

(2)ア③
下図のようにバーコードには，細太の縦線と数値がある。この数値がある理由はどれか答えなさい。 図　4 912345 678904
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢１	バーコードリーダによって細太の縦線の読み取りができなかった場合，目視にて入力ができるようにしているから。
選択肢２	細太の縦線と数値の組み合わせで情報を表現しているから。
選択肢３	細太の縦線には商品データが，数値には店舗データが記録されているから。
選択肢４	細太の縦線には店舗データが，数値には商品データが記録されているから。
正　答	１

(2)ア④
動画や画像，音楽などのファイル形式で，文字データとして読み込むことのできない形式のファイルはどれか答えなさい。
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢１	テキストファイル
選択肢２	ディレクトリ
選択肢３	バイナリファイル
選択肢４	フォーマット
正　答	３

(2)ア⑤
フリーウェアに関する説明として正しいものはどれか答えなさい。
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢１	著作権は放棄されていないため，改変，再配布はできない。
選択肢２	経済産業省から許可を受けた者だけが開発できる。
選択肢３	フリーウェアを利用してもマルウェアに感染することはない。
選択肢４	フリーウェアは経済産業省が所管し，配布することについて法的許可を得ている。
正　答	１

イ　情報通信ネットワークの仕組みと構成

(2)イ①	
Web ページのテキストや画像などをクリックすることで，関連付けた別のページへ移動するしくみはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	CSS
選択肢 2	URL
選択肢 3	ハイパーリンク
選択肢 4	ブラウザ
正　答	3

(2)イ②	
コンピュータからプリントサーバ機能をもったプリンタへ印刷命令を送った。プリントサーバは印刷命令を受け取ったが，コンピュータは印刷が終了する前に異常終了した。この場合，印刷はどのようになるか正しいものを答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	印刷命令はプリントサーバに送られているので正常に印刷される。
選択肢 2	コンピュータが異常終了したために印刷命令は削除されるので，全く印刷されない。
選択肢 3	印刷命令はプリントサーバに送られているが，コンピュータが異常終了した時点で印刷中止命令がプリントサーバに送られるので，印刷は途中で中断される。
選択肢 4	プリントサーバに送られた印刷命令はコンピュータに返されるので，全く印刷されない。
正　答	1

ウ　情報通信ネットワークの活用

(2)ウ①	
特定の Web サイトが，検索エンジンにおいて上位に表示されるように，その Web サイトの内容を調整する取り組みはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	BCC
選択肢 2	EOS
選択肢 3	OSS
選択肢 4	SEO
正　答	4

(2)ウ②

Ｗｅｂアクセシビリティを向上させるための取り組みとして，正しいものはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	画像には代替テキストを付与する。
選択肢２	タイトル文字は２ポイント以下にする。
選択肢３	スマートフォンの普及率を踏まえ，基本操作はタップのみにする。
選択肢４	リンク先のページは常に新しいウィンドウを開いて表示するようにする。
正　答	1

(2)ウ③	
大容量の文書ファイルを電子メールで送信する場合に留意することはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	通信回線への負荷を軽減するため，ファイルを圧縮して送信する。
選択肢２	通信回線への負荷を軽減するため，画像ファイルに変換して送信する。
選択肢３	文書が不鮮明になるのを避けるため，元のファイルのままを送信する。
選択肢４	送信に要する時間を少なくするため，HTML メールで送信する。
正　答	1

エ　情報セキュリティの確保と法規

(2)エ①	
宣伝や広告などでの収入を目的とし，ユーザの意図しない広告を表示することで無償提供されているソフトウェアはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	アドウェア
選択肢２	オープンソースソフトウェア
選択肢３	シェアウェア
選択肢４	ランサムウェア
正　答	1

(2)エ②	
認証の際，一定時間ごとに更新されるため盗まれてもすぐに無効になるといった利点をもつ，一回限り有効の使い捨てパスワードを用いる認証方式はどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	アクセス権
選択肢２	セキュリティパッチ
選択肢３	タイムスタンプ

選択肢４	ワンタイムパスワード
正　答	4

(3) 情報の集計と分析

ア　ビジネスと統計

(3)ア①

次の説明文に当てはまる語句はどれか答えなさい。

データの最大値，最小値，第１四分位数，第２四分位数，第３四分位数，平均値をまとめて表現したものであり，データ全体の散らばりや偏りを視覚的に表現する際に用いられる。

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢１	ヒストグラム
選択肢２	標準偏差
選択肢３	分散
選択肢４	箱ひげ図
正　答	4

(3)ア②

次のデータは，試作品に対する評価を，高校生と大学生のそれぞれ 10 名を対象として行った結果をまとめたものである。評価は，最低評価を１点，最高評価を 10 点として行った。

回答者	評価	回答者	評価	回答者	評価	回答者	評価
大学生	1	高校生	5	大学生	8	高校生	9
大学生	2	高校生	5	大学生	8	高校生	10
高校生	3	大学生	5	高校生	9	高校生	10
大学生	3	高校生	8	高校生	9	大学生	10
大学生	4	大学生	8	高校生	9	大学生	10

このデータを基に階級を次のように設定して，高校生と大学生に分けて度数分布を分析した。最も適切に分析している社員は誰か答えなさい。

階　級	1～2	3～4	5～6	7～8	9～10

Ａさん：高校生の度数分布をみると，階級 9~10 の度数は，高校生の回答者の 40%を占めている。大学生については，階級 9~10 の度数は，大学生の回答者の 30%を占めている。そのため，高校生も大学生も高評価であったと言える。

Ｂさん：大学生についてみると，階級 1~2 と階級 3~4 の度数の合計は，大学生の回答者の 40%を占めている。また，階級 7~8 と階級 9~10 の度数の合計は，大学生の回答者の 50%を占めている。そのため，大学生の評価は分かれていると言える。

Ｃさん：階級 9~10 の度数は 8 となっており，このうち高校生の占める割合は 85%である。そのため，高い評価を付けた回答者の多くは高校生であったと言える。

Ｄさん：評価が 10 段階であるのに対して階級数が 5 となっている。そのため，階級数を 10

に設定しないと評価の傾向を分析することはできない。

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	Ａさん
選択肢２	Ｂさん
選択肢３	Ｃさん
選択肢４	Ｄさん
正　答	２

(3)ア③

次の表は，ある店舗の１か月間のおにぎりの売上高を集計したものである。

このデータを用いてＡＢＣ分析により商品の重要度を分析することとした。累積構成比（構成比累計）が 70%までをＡ，70%超~90%までをＢ，90%超をＣとするとき，最も適切に分析している社員は誰か答えなさい。

Ａさん：Ａグループに分類される商品は，鮭おにぎりとエビマヨおにぎりであり，売上構成比を基にすると，最も重点的に管理される商品と言える。

Ｂさん：Ａグループに分類される商品は，鮭おにぎり，エビマヨおにぎり，梅おにぎりであり，売上構成比を基にすると，最も重点的に管理される商品と言える。

Ｃさん：Ｃグループに分類される商品は塩おにぎりであり，売上構成比を基にすると，商品改良を検討する必要がある商品と言える。

Ｄさん：Ｃグループに分類される商品は昆布おにぎりと塩おにぎりであり，売上構成比を基にすると，商品改良を検討する必要がある商品と言える。

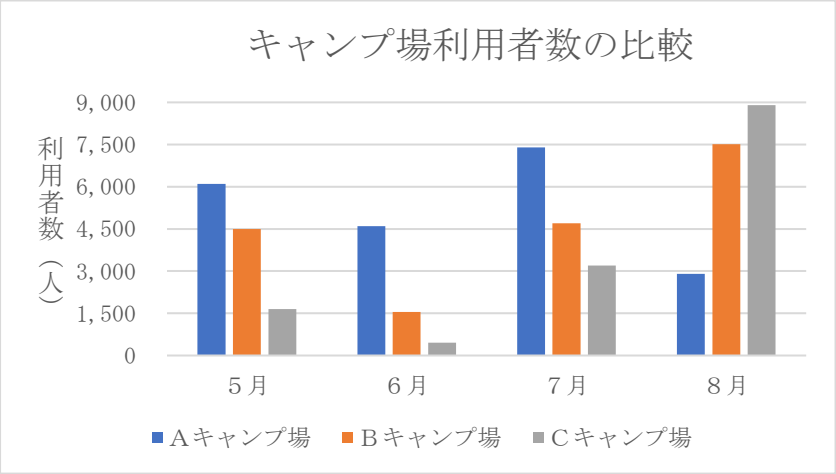
商品名	売上高	商品名	売上高
鮭おにぎり	300,000	カルビおにぎり	60,000
エビマヨおにぎり	240,000	おかかおにぎり	50,000
梅おにぎり	120,000	明太子おにぎり	30,000
いくらおにぎり	90,000	昆布おにぎり	20,000
ツナマヨおにぎり	80,000	塩おにぎり	10,000

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	Ａさん
選択肢２	Ｂさん
選択肢３	Ｃさん
選択肢４	Ｄさん
正　答	２

イ　表・グラフの作成と情報の分析

(3)イ①	
データ全体の構成比を比較するときに最も適したグラフはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	円グラフ
選択肢２	折れ線グラフ
選択肢３	棒グラフ
選択肢４	レーダーチャート
正　答	1

(3)イ②　４２：３２１：２

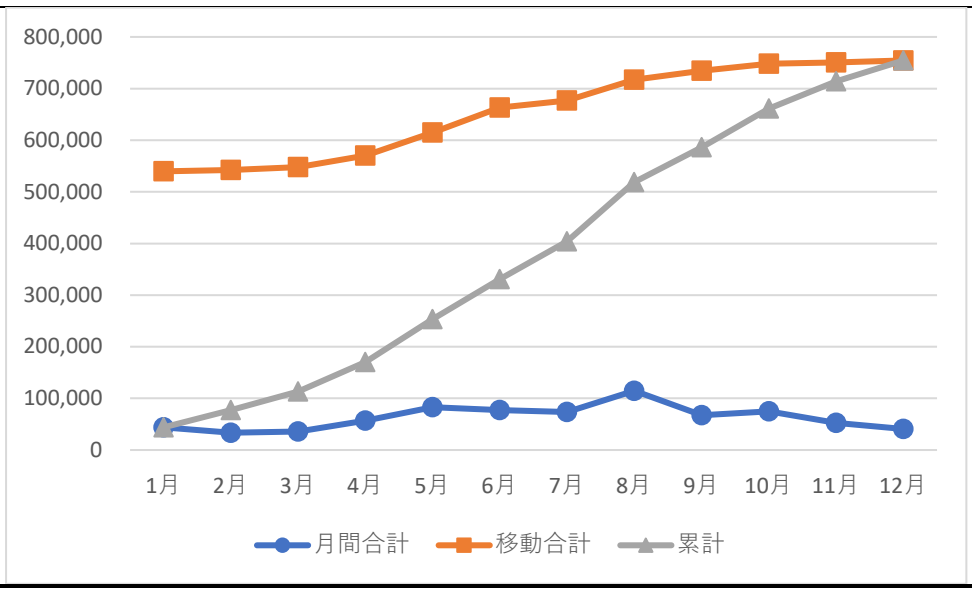


次のグラフは，ある県のキャンプ場利用者数を集計したものである。グラフから読み取った内容として正しいものはどれか答えなさい。

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	「B キャンプ場」の利用者数は，５月より６月が多い。
選択肢２	８月の「B キャンプ場」の利用者数は，「A キャンプ場」の２倍以上である。
選択肢３	「A キャンプ場」の利用者数が，毎月増加している。
選択肢４	７月から８月にかけて，すべてのキャンプ場で利用者数が増加している。
正　答	2

(3)イ③

次の観光客数に関するＺグラフから分析できることとして最も適切なものはどれか答えなさい。



☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	三つのグラフを総合してみると，月間合計は減少することなく増加し続けていることがわかる。
選択肢 2	移動合計のグラフから，観光客は増加傾向にあることがわかる。
選択肢 3	月間合計のグラフから，９月以降の観光客数は前年と比較して減少傾向にあることがわかる。
選択肢 4	累計のグラフから，来年度は観光客が減少することがわかる。
正　答	2

ウ　問題の発見と解決の方法

(3)ウ①
あるテーマに属する複数のことがらを整理するにあたって，重複せず漏れがないように分類を作る考え方はどれか答えなさい。

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	PDCA
選択肢 2	MECE
選択肢 3	ロジカルシンキング
選択肢 4	ロジックツリー
正　答	2

(3)ウ②

次のデシジョンテーブルは，ある温泉施設の割引について表したものである。割引条件について，次の説明のうち正しいものはどれか答えなさい。

条件部	会員	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
	クーポン有	Y	Y	N	N	Y	Y	N	N
	サービスデイ	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N
動作部	10%割引	X	-	-	-	-	-	-	-
	5%割引	-	X	X	-	X	X	-	-
	3%割引	-	-	-	X	-	-	X	-
	割引なし	-	-	-	-	-	-	-	X

（注） 条件部　Y：条件を満たす　　N：条件を満たさない
動作部　X：行動　　-　：行動なし

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢 1	会員であれば必ず 10%割引となる。
選択肢 2	クーポンを使うと必ず 5%割引となる。
選択肢 3	会員であればサービスデイにクーポンを使うと 10%割引となる。
選択肢 4	クーポンは会員ではければ使うことはできない。
正　答	3

(3)ウ③

ある業務について外部の業者へ委託することを検討している。現在，ある業務に関わる費用は年間 250 万円である。外部委託を行う場合には，初期費用に加え，初期費用の 5～10%の年間費用が必要である。4 年間の業務委託を検討するとして下記の表をもとにシミュレーションを行い，最も費用が少ないものはどれか答えなさい。

選択／費用	初期費用	年間費用
外部委託しない	0 円	250 万円
A 社に委託する	900 万円	初期費用の 5%
B 社に委託する	800 万円	初期費用の 8%
C 社に委託する	700 万円	初期費用の 10%

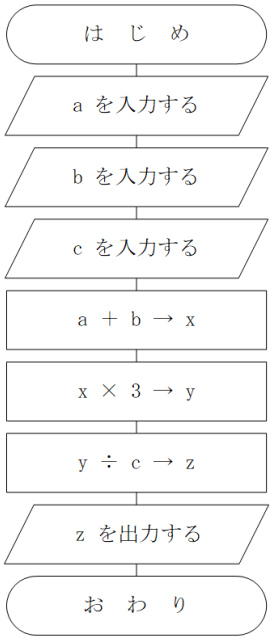
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢 1	外部委託しない
選択肢 2	A 社に委託する
選択肢 3	B 社に委託する
選択肢 4	C 社に委託する
正　答	4

(3)ウ④

流れ図にしたがって処理する際，a の値が 2 ，b の値が 8 ，c の値が 6 のとき，出力される z の値を答えなさい。

＜流れ図＞



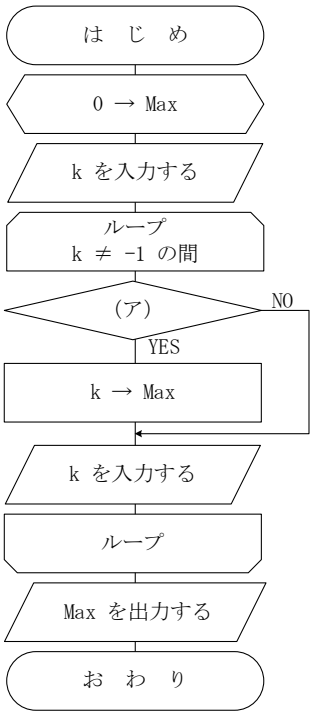
☐ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☒テキスト入力

正　答	5

(3)ウ⑤

最大値を求める流れ図の（ア）にあてはまる処理として適切なものはどれか。一つ答えなさい。なお，最大値になるものが複数回入力された場合は，先に入力されたデータを優先する。また，入力する値は０以上の整数とし，－１が入力されたら最大値を出力して処理を終了するものとする。

＜流れ図＞



☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢１	k ＞ Max
選択肢２	k ≧ Max
選択肢３	k ＜ Max
選択肢４	k ≦ Max
正　答	1

２　情報処理（ＣＢＴ方式試験）

(1) 企業活動と情報処理

ア　情報処理の重要性【出題なし】

イ　コミュニケーションと情報デザイン【出題なし】

ウ　情報モラル

(1)ウ①	
実演家やレコード製作者など，著作物の創作者ではないが，その伝達に大きな役割を果たしている者に与えられる権利はどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	産業財産権
選択肢 2	同一性保持権
選択肢 3	著作隣接権
選択肢 4	実用新案権
正　答	3

(2) コンピュータシステムと情報通信ネットワーク

ア　コンピュータシステムの概要

(2)ア①	
文字コードの世界的な標準規格であり，世界中の言語で使われている多くの文字を，一つの文字コード体系で表現することができるものはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	ASCII コード
選択肢 2	JIS コード
選択肢 3	Unicode
選択肢 4	シフト JIS コード
正　答	3

(2)ア②	
一つの CPU の中に複数のコアを持ち，複数の処理を並行して行うことが可能となり，処理の効率向上が期待できるものはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	MPU
選択肢 2	キャッシュメモリ
選択肢 3	シングルコアプロセッサ
選択肢 4	マルチコアプロセッサ
正　答	4

(2)ア③	
次のファイルを検索する際に有効な検索値はどれか。すべて答えなさい。 検索ファイル：　zensho.txt	
□ラジオボタン　□複数ラジオボタン　☒チェックボックス　□ドロップダウン　□テキスト入力	
選択肢 1	zen*
選択肢 2	*.txt
選択肢 3	??????.t*
選択肢 4	zen*.??
正　答	1・2・3

イ　情報通信ネットワークの仕組みと構成

(2)イ①	
通信を行う際の伝送単位であり，一定サイズに分割したデータに送信元情報や送信先情報などを付加したものはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　□複数ラジオボタン　□チェックボックス　□ドロップダウン　□テキスト入力	
選択肢 1	サブネットマスク
選択肢 2	セクタ
選択肢 3	パケット
選択肢 4	プロトコル
正　答	3

(2)イ②	
内部ネットワークとインターネットの境界にあり，直接インターネットに接続しない内部のコンピュータに代わって，接続を行うサーバはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　□複数ラジオボタン　□チェックボックス　□ドロップダウン　□テキスト入力	
選択肢 1	POP サーバ
選択肢 2	SMTP サーバ
選択肢 3	Web サーバ
選択肢 4	プロキシサーバ
正　答	4

(2)イ③
次の例のようにサブネットマスクが設定されているネットワークに接続可能なホストの最大数はどれか答えなさい。 例　255.255.255.192

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	30
選択肢 2	32
選択肢 3	62
選択肢 4	64
正　答	3

ウ　情報通信ネットワークの活用

(2)ウ①	
データの圧縮処理の一つで，圧縮前と解凍後のデータが完全に同じになる方式はどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	可逆圧縮
選択肢 2	シンプレックスシステム
選択肢 3	デュプレックスシステム
選択肢 4	非可逆圧縮
正　答	1

(2)ウ②	
1 つの処理に対して主系と予備系の 2 組のシステムを用意し，主系に障害が発生した際に予備系に切り替えて処理を続行させる手法はどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	クライアントサーバシステム
選択肢 2	シンプレックスシステム
選択肢 3	デュプレックスシステム
選択肢 4	デュアルシステム
正　答	3

(2)ウ③	
オンデマンド配信のメリットとして正しいものはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	ユーザの都合に合わせて，時間や場所を問わず視聴できる。
選択肢 2	データ容量は極端に小さいので，通信速度が遅い回線でも問題なく視聴できる。
選択肢 3	その場で撮影した映像をリアルタイムで視聴できる。
選択肢 4	データの録画はできないものの，録音はできる。
正　答	1

エ　情報セキュリティの確保と法規

(2)エ①	
パソコンの画面を覗き込むなど，情報通信技術を使用せずに機密情報などを詐取する手法の総称はどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	Dos 攻撃
選択肢 2	ガンブラー
選択肢 3	キーロガー
選択肢 4	ソーシャルエンジニアリング
正　答	4

(2)エ②	
生体認証に関する説明として，正しいものはどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	生体認証において，他人受入率が高いほどセキュリティが高く，本人拒否率が高いほど利便性が高いといえる。
選択肢 2	生体認証において，他人受入率が低いほどセキュリティが高く，本人拒否率が低いほど利便性が高いといえる。
選択肢 3	生体認証において，他人受入率が高いほど利便性が高く，本人拒否率が高いほどセキュリティが高いといえる。
選択肢 4	生体認証において，他人受入率が低いほど利便性が高く，本人拒否率が低いほどセキュリティが高いといえる。
正　答	2

(2)エ③	
Web ページに掲載された画像や音声データなどの著作権侵害を防ぐ技術の一つで，コピーした際，著作者や ID などの任意の情報を埋め込む技術はどれか答えなさい。	
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力	
選択肢 1	CA
選択肢 2	ディスク暗号化
選択肢 3	電子署名
選択肢 4	電子すかし
正　答	4

(3) 情報の集計と分析

ア　ビジネスと統計【出題なし】

イ　表・グラフの作成と情報の分析

(3)イ①

次の表は，ある高等学校の進学先一覧表である。表の 7 行目と 8 行目の間に 1 行分の空白行を挿入したい。これを実行する際の行の指定方法として適切なものはどれか答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	進学先一覧表			
3	学校名	学部	学科	人数
4	A大学	経済	経済	1
5	B大学	経営	経営	3
6	C大学	商	経済	2
7	D大学	社会	メディア	1
8	E専門学校		建築	1
9	F専門学校		税理士	2
10				

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢 1	7 D大学 8 E専門学校 （7行目と8行目を選択）
選択肢 2	7 D大学 8 E専門学校 （7行目を選択）
選択肢 3	7 D大学 8 E専門学校 （8行目を選択）
選択肢 4	6 C大学 7 D大学 8 E専門学校 （6行目から8行目を選択）
正　答	3

(3)イ②

社内の会議で，４月から６月における，各支店の売上高の目標に対する売上状況について説明することになった。配布する資料として，最も適切なものはどれか答えなさい。

支店コードと支店名

支店コード	101	102	103	104
支店名	東京	大阪	名古屋	福岡

各支店の４月から６月の売上高　　単位：万円

支店名	東京	大阪	名古屋	福岡
４月	168	152	189	250
５月	441	493	307	204
６月	250	298	461	315

各支店の売上高の目標

東京	大阪	名古屋	福岡
900	850	850	800

☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢１

単位：万円

支店コード	支店名	４月	５月	６月	合計	目標	目標達成率
101	東京	168	441	250	859	900	95.4%
102	大阪	152	493	298	943	850	110.9%
103	名古屋	189	307	461	957	850	112.6%
104	福岡	250	204	315	769	800	96.1%

選択肢２

単位：万円

支店コード	合計	４月	５月	６月	目標	目標達成率	支店名
101	859	168	441	250	900	95.4%	東京
102	943	152	493	298	850	110.9%	大阪
103	957	189	307	461	850	112.6%	名古屋
104	769	250	204	315	800	96.1%	福岡

選択肢３

単位：万円

支店コード	支店名	４月	５月	６月	４月に対する６月の増加率
101	東京	168	441	250	48.8%
102	大阪	152	493	298	96.1%
103	名古屋	189	307	461	143.9%
104	福岡	250	204	315	26.0%

選択肢４

各支店の４月から６月の売上高　　単位：万円

支店コード	101	102	103	104
支店名	東京	大阪	名古屋	福岡
４月	168	152	189	250
５月	441	493	307	204
６月	250	298	461	315
合計	859	943	957	769

各支店の売上高の目標

支店コード	101	102	103	104
目標	900	850	850	800
目標達成率	95.4%	110.9%	112.6%	96.1%

正　答　1

(3)イ③

次の表は，資産運用シミュレーション表である。投資後の資産額は，次の式で求める。

初期投資額　×　（１＋利率）^{年数}

B6 に設定する式として適切なものはどれか答えなさい。

ただし，式は G8 までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	資産運用シミュレーション表						
3	初期投資額	1,000,000					
4							
5	年数／利率	1%	2%	3%	4%	5%	6%
6	1	1,010,000	1,020,000	1,030,000	1,040,000	1,050,000	1,060,000
7	2	1,020,100	1,040,400	1,060,900	1,081,600	1,102,500	1,123,600
8	3	1,030,301	1,061,208	1,092,727	1,124,864	1,157,625	1,191,016

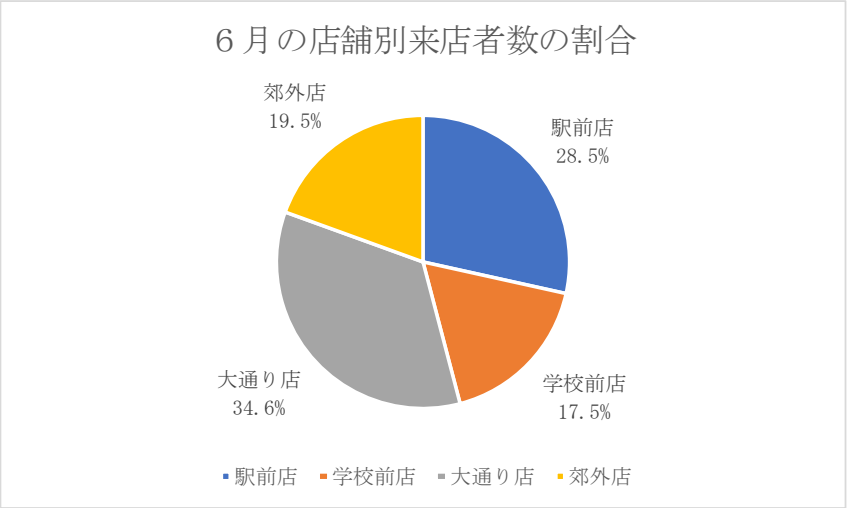
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢 1	=B3*(1+B5)^A6
選択肢 2	=$B$3*(1+B$5)^$A6
選択肢 3	=$B$3*(1+$B5)^A$6
選択肢 4	=$B$3*(1+$B$5)^$A$6
正　答	2

(3)イ④

次のグラフのデータの範囲として適切なものはどれか答えなさい。

	A	B	C	D	E
1			来店者数一覧表		単位：人
2		4 月	5 月	6 月	合計
3	駅前店	4,049	4,754	3,721	12,524
4	学校前店	2,428	2,940	2,282	7,650
5	大通り店	7,132	6,422	4,524	18,078
6	郊外店	2,739	2,966	2,545	8,250
7	合計	16,348	17,082	13,072	



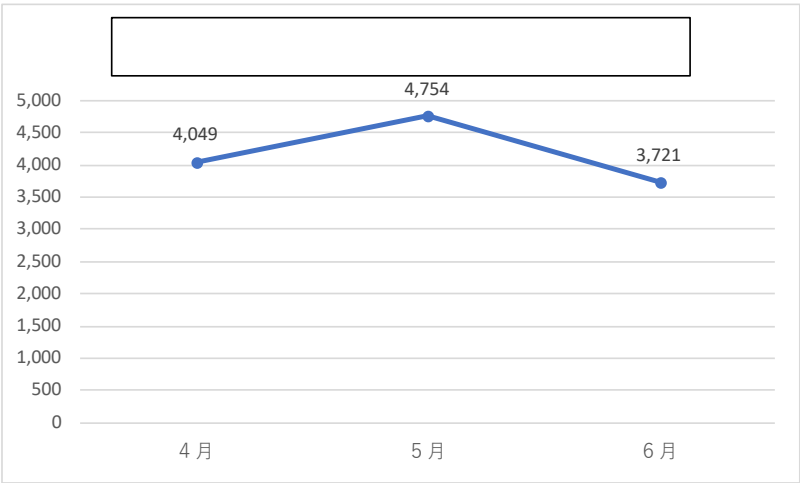
☒ラジオボタン　☐複数ラジオボタン　☐チェックボックス　☐ドロップダウン　☐テキスト入力

選択肢 1	A2:A6 と B2:B6
選択肢 2	A2:A6 と C2:C6
選択肢 3	A2:A6 と D2:D6
選択肢 4	A2:A6 と E2:E6
正　答	3

(3)イ⑤

次のグラフの□に入れるタイトルとして最も適切なものはどれか答えなさい。

	A	B	C	D	E
1			来店者数一覧表		単位：人
2		４月	５月	６月	合計
3	駅前店	4,049	4,754	3,721	12,524
4	学校前店	2,428	2,940	2,282	7,650
5	大通り店	7,132	6,422	4,524	18,078
6	郊外店	2,739	2,966	2,545	8,250
7	合計	16,348	17,082	13,072	



☒ラジオボタン　□複数ラジオボタン　□チェックボックス　□ドロップダウン　□テキスト入力	
選択肢１	駅前店の４月～６月の来店者数の推移
選択肢２	学校前店の４月～６月の来店者数の割合
選択肢３	店舗別来店者数の比較
選択肢４	月と売上高の関係
正　答	1

ウ　問題の発見と解決の方法【出題なし】

(4) ビジネス文書の作成【出題なし】

(5) プレゼンテーション

(5)①

次の文のうち，ノンバーバルコミュニケーションに該当しないものはどれか答えなさない。

☒ラジオボタン　□複数ラジオボタン　□チェックボックス　□ドロップダウン　□テキスト入力	
選択肢１	ジェスチャ
選択肢２	視線
選択肢３	表情
選択肢４	言語
正　答	4

３　情報処理（実技問題）

次の資料は，ある新幹線における車内販売の分類別売上数量と飲料の商品別売上高である。資料と作成条件にしたがってシート名「シート１」を作成しなさい。

資料

分類別売上実績数　　単位：個

分類	5月	6月	7月	8月
アイス	1,364	1,837	2,509	4,219
飲料	17,352	14,971	16,528	18,924
弁当・パン	5,473	4,429	5,486	5,391
菓子	5,135	4,072	5,284	6,816
新幹線グッズ	3,521	2,780	2,923	3,315
お土産	3,146	2,665	2,310	3,927

飲料の商品別売上高　　単位：千円

商品	5月	6月	7月	8月
炭酸飲料	351	458	505	795
果汁飲料	465	251	273	344
緑茶	812	700	773	687
コーヒー	1,306	1,158	1,279	1,374
その他	145	97	110	158

作成条件

ワークシートは，試験開始前に提供されたものを使用する。なお，シート1は並べ替えを行う前の状態である。

１．表およびグラフの体裁は，右ページを参考にして設定する。
（設　定　す　る　書　式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，%，小数の表示桁数）

２．表の※印の部分は，式や関数を利用して求める。また，※※印の部分は，資料より必要な値を入力する。

３．グラフの※印の部分は，表に入力された値をもとに表示する。

４．「１．8月の目標設定」は，次のように作成する。

⑴　「平均」は，「5月実績数」から「7月実績数」の平均を求める。ただし，整数部のみ表示する。

⑵　「最大」は，「5月実績数」から「7月実績数」の最大値を求める。

⑶　「8月目標数」は，「平均」を1.2倍した値を，10円未満を四捨五入して表示する。

５．「２．8月の分類別売上数量」は，次のように作成する。

⑴　「目標達成率」は，次の式で求める。ただし，%で小数第1位まで求める。なお，「8月目標数」は，「分類」をもとに，「１．8月の目標設定」を参照して求める。

「8月実績数　÷　8月目標数」

⑵　15～20行目のデータを，D列の「目標達成率」を基準として，降順に並べ替える。

６．複合グラフは，並べ替えの処理をしたあと，「２．8月の分類別売上数量」から作成する。

⑴　数値軸（縦軸）の目盛は，最小値（0），最大値（20,000），および間隔（5,000）を設定する。

⑵　第2数値軸（縦軸）の目盛は，最小値（0.0%），最大値（200.0%），および間隔（50.0%）を設定する。

⑶　軸ラベルの方向を設定する。

⑷　凡例の位置を設定する。

⑸　データラベルは，「目標達成率」を表示し，「8月実績数」は表示しない。

７．「３．飲料の商品別売上高」は，次のように作成する。

⑴　「合計」は，各列の合計を求める。

⑵　「構成比」は，次の式で求める。ただし，小数第3位を四捨五入し，%で小数第1位まで表示する。

「8月　÷　8月の合計」

⑶　「順位」は，「8月」を基準として，降順に順位を求める。

⑷　「備考」は，「8月」が「5月」より大きい場合，または，「構成比」が 10.0% 以上の場合，○ を表示し，それ以外の場合，何も表示しない。

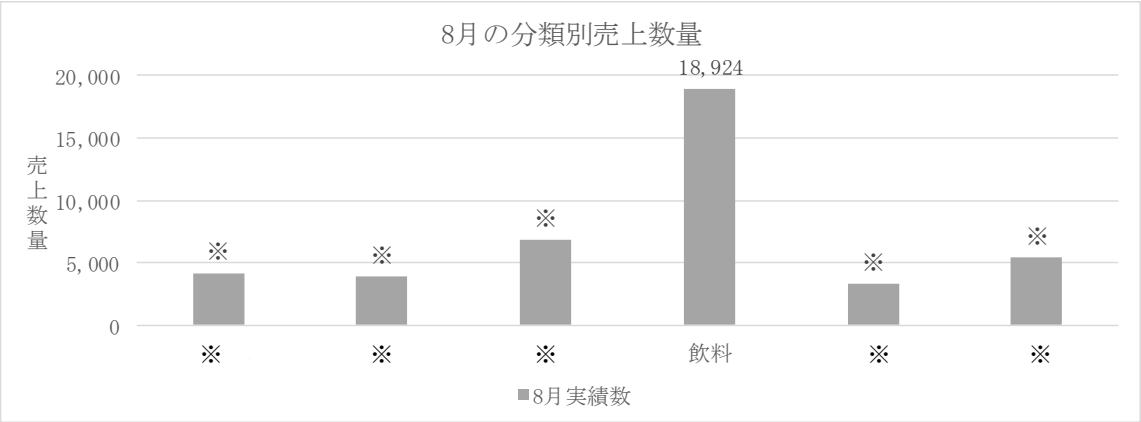
売上報告書

1．8月の目標設定　　単位：個

分類	5月実績数	6月実績数	7月実績数	平均	最大	8月目標数
飲料	17,352	14,971	16,528	16,284	17,352	19,500
菓子	5,135	4,072	5,284	※	※	※
弁当・パン	5,473	4,429	5,486	※	※	※
アイス	1,364	1,837	2,509	※	※	※
お土産	3,146	2,665	2,310	※	※	※
新幹線グッズ	3,521	2,780	2,923	※	※	※

2．8月の分類別売上数量

分類	8月実績数	目標達成率
飲料	18,924	97.0%
菓子	6,816	※
弁当・パン	5,391	※
アイス	4,192	※
お土産	※※	※
新幹線グッズ	※※	※



3．飲料の商品別売上高　　単位：千円

商品	5月	6月	7月	8月	構成比	順位	備考
果汁飲料	465	251	273	344	10.3%	4	
コーヒー	1,306	1,158	1,279	1,374	※	※	※
炭酸飲料	351	458	505	795	※	※	※
緑茶	812	※※	※※	687	※	※	※
その他	145	※※	※※	145	※	※	※
合計	3,079	※	※	※			

（シート１）

（提供データ）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2									
3									
4	１．8月の目標設定							単位：個	
5		分類	5月実績数	6月実績数					
6		飲料	17352	14971	16528				
7		菓子	5135	4072	5284				
8		弁当・パン	5473	4429	5486				
9		アイス	1364	1837	2509				
10		お土産	3146	2665	2310				
11		新幹線グッ	3521	2780	2923				
12									
13	２．8月の分類別売上数量								
14		分類	8月実績数	目標達成率					
15		飲料	18924						
16		菓子	6816						
17		弁当・パン	5391						
18		アイス	4192						
19		お土産							
20		新幹線グッズ							
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39	３．飲料の商品別売上高					単位：千円			
40		商品	5月	6月	7月	8月			
41		果汁飲料	465	251	273	344			
42		コーヒー	1306	1158	1279	1374			
43		炭酸飲料	351	458	505	795			
44		緑茶	812			687			
45		その他	145			145			
46		合計							

主催　公益財団法人　全国商業高等学校協会
令和×年度（第×回）情報処理検定試験　**情報処理　実技**

審　査　基　準

売上報告書

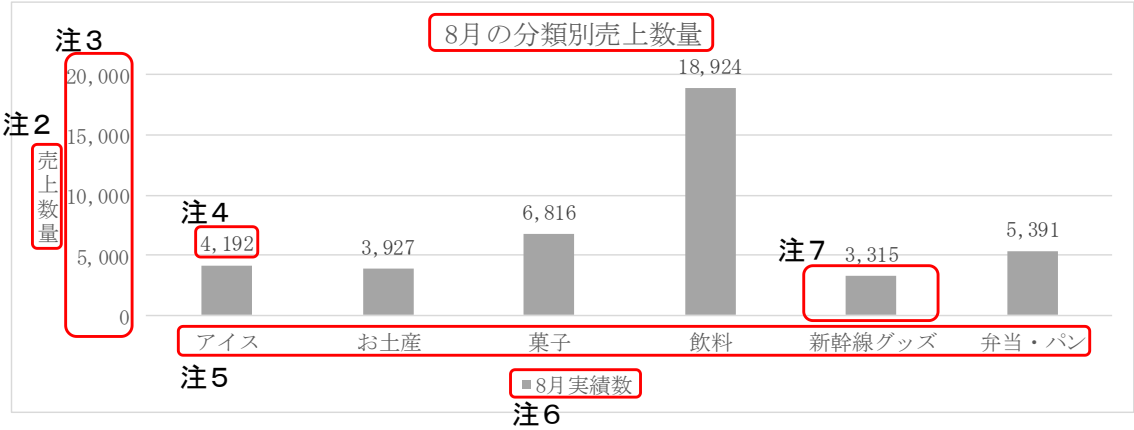
1．8月の目標設定　　単位：個

分類	5月実績数	6月実績数	7月実績数	平均	最大	8月目標数
飲料	17,352	14,971	16,528	16,284	17,352	19,500
菓子	5,135	4,072	5,284	4,830	5,284	5,800
弁当・パン	5,473	4,429	5,486	5,129	5,486	6,200
アイス	1,364	1,837	2,509	1,903	2,509	2,300
お土産	3,146	2,665	2,310	2,707	3,146	3,200
新幹線グッズ	3,521	2,780	2,923	3,075	3,521	3,700

2．8月の分類別売上数量

分類	8月実績数	目標達成率
アイス	4,192	182.3%
お土産	3,927	122.7%
菓子	6,816	117.5%
飲料	18,924	97.0%
新幹線グッズ	3,315	89.6%
弁当・パン	5,391	87.0%

注１



3．飲料の商品別売上高　　単位：千円

商品	5月	6月	7月	8月	構成比	順位	備考
果汁飲料	465	251	273	344	10.3%	4	
コーヒー	1,306	1,158	1,279	1,374	41.1%	1	○　注８
炭酸飲料	351	458	505	795	23.8%	2	○
緑茶	812	700	773	687	20.5%	3	
その他	145	97	110	145	4.3%	5	
合計	3,079	2,664	2,940	3,345			

配点

① コンマ …… 5点×1箇所＝5点
（「1．8月の目標設定」のコンマがすべて設定されている）

② 表の作成（　　）の箇所 …… 5点×11箇所＝55点

注１　なお，データが正しく並べられていない場合は，「分類」を基準に，採点する。
-----で結ばれた項目があっていれば，並べ替えが誤りでも正解とする。

注８　炭酸飲料が ○ ，緑茶が空白。

③ 罫線 …… 5点×1箇所＝5点
（「3．飲料の商品別売上高」の罫線が正確にできている）

④ グラフの作成（　　）の箇所 … 5点×7箇所＝35点

注２　方向。
注３　最小値（0），最大値（20,000），および間隔（5,000）。
注４　数値（4,192）。
注５　分類名の並び順があっていること。
注６　位置はグラフの下側であること。
注７　「新幹線グッズ」が集合縦棒グラフであること。データラベルの有無は問わない。

※　審査にあたっては，必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。

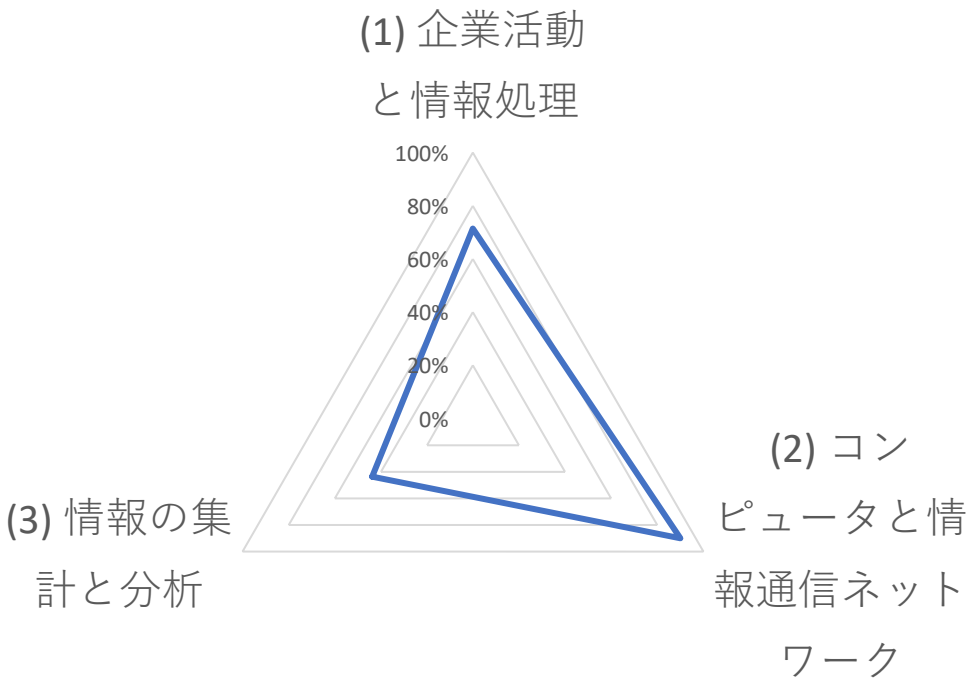
受験結果評価票（案）

情報処理検定試験　科目：情報基礎

ID： XXXXXXXXX　　受験日： 令和8年9月27日

点数　　70 点　　合格

分類	正答率
(1) 企業活動と情報処理	71%
(2) コンピュータと情報通信ネットワーク	90%
(3) 情報の集計と分析	44%



公益財団法人　全国商業高等学校協会

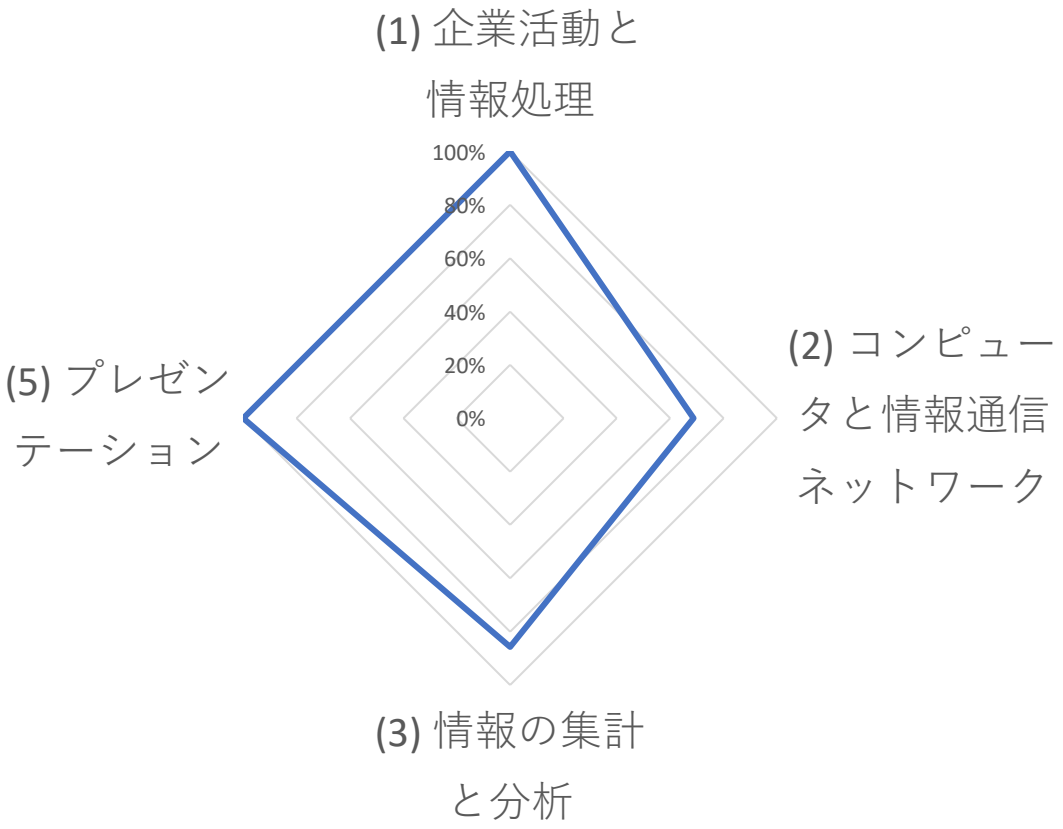
受験結果評価票（案）

情報処理検定試験　科目：情報処理（CBT方式試験）

ID： XXXXXXXXX　　受験日： 令和8年9月27日

点数　　72 点　　合格

分類	正答率
(1) 企業活動と情報処理	100%
(2) コンピュータと情報通信ネットワーク	69%
(3) 情報の集計と分析	86%
(5) プレゼンテーション	100%



公益財団法人　全国商業高等学校協会